

平成26年度

「運営に関する計画」

大阪市立昭和中学校

平成26年4月

大阪市立昭和中学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査については、平均正答率は全ての教科において全国平均を上回り、平均無解答率は全ての教科において全国平均を下回るなど、一定の成果を達成することができた。一方、家庭での自主学習習慣の定着に課題を残した。
- 命や人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会を確保するため、道徳教育や教育相談活動のさらなる充実を図る必要がある。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における女子の平均記録は全ての項目において全国平均を上回ったものの、男子の平均記録は 50m 走と立ち幅跳び以外は全国平均を下回り課題を残した。望ましい生活習慣や運動習慣を身に付けさせる教育を家庭・地域と連携しながら推進する必要がある。
- 学校教育 ICT 活用事業 (平成 25～26 年度) のモデル校として、研究と実践に一定の成果をおさめることができた。平成 26 年度は、すべての教科において公開研究授業を行い、広く全市に「スタンダードモデル」を普及させることが課題である。

中期目標**【視点 学力の向上】**

- 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している (どちらかといえばしている)」と答える生徒の割合を平成 24 年度より向上させる。(カリキュラム改革関連・学校サポート改革関連)
- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある。」の項目において、「ある (どちらかといえば、ある)」と答える生徒の割合を平成 24 年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「学校は子どもに基礎的な学力が身につくように努めている。」の項目において、「努めている (どちらかといえば、努めている)」と答える保護者の割合を平成 24 年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「持っている (どちらかといえば持っている)」と答える生徒の割合を平成 24 年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「命や人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の項目において「ある (どちらかといえば、ある)」と答える生徒の割合を、平成 24 年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「先生はいじめや校内暴力など私たちが困っていることについて対応してくれる」の項目において「対応してくれる (どちらかといえば対応してくれる)」と答える生徒の割合を平成 24 年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「地震や台風などの場合の対応については、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている」の項目において、「知らされている (どちらかといえば、知らされている)」と答える保護者の割合を、平成 24 年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)

- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「保護者や地域の人々といっしょになって学習や作業をすることがある」の項目において「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を、平成 24 年度より向上させる。（カリキュラム改革関連・ガバナンス改革関連）
- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「私は部活動に積極的に取り組んでいる」の項目について、「取り組んでいる（どちらかといえば取り組んでいる）」と答える生徒の割合を、平成 24 年度より向上させる。（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における女子ボール投げの平均の記録を、全国平均以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 平成 27 年度末の校内アンケートにおいて栄養バランスのとれた昼食（家庭弁当や学校給食）を取る生徒の割合を 100%にする。（カリキュラム改革関連）
- 平成 27 年度末の自己評価において、「保健・健康に関して家庭や地域の保健関係機関との連携を図っている」の項目について「図っている（どちらかといえば図っている）」と答える教職員の割合を、平成 24 年度より向上させる。（ガバナンス改革関連）

【視点 教職員の I C T活用能力の向上】

- 平成 26 年度末の「文部科学省 教育の情報化の実態等に関する調査」における「授業中に I C Tを活用して指導する能力」の項目において、「できる（わりにできる・ややできる）」と答える教員の割合を 100%にする。（マネジメント改革関連）
- 平成 26 年度末の「文部科学省 教育の情報化の実態等に関する調査」における「生徒に I C T活用を指導する能力」の項目において、「できる（わりにできる・ややできる）」と答える教員の割合を 100%にする。（マネジメント改革関連）
- 平成 26 年度末の「文部科学省 教育の情報化の実態等に関する調査」における「校務に I C Tを活用する能力」の項目において、「できる（わりにできる・ややできる）」と答える教職員の割合を 100%にする。（マネジメント改革関連）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 平成 27 年度の全国学力・学習状況調査における「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。（カリキュラム改革関連・学校サポート改革関連）
- 平成 26 年度「指導方法の工夫改善定数を活用した小学校における専科指導の充実」に係る児童アンケート（5 月・12 月実施）の各項目において、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える生徒の割合を、5 月実施分より 12 月実施分において向上させる。
- 平成 26 年度末の校内アンケートにおける「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある。」の項目において、「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を 75% 以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 平成 26 年度末の校内アンケートにおける「学校は子どもに基礎的な学力が身につくように努めている。」の項目において、「努めている（どちらかといえば、努めている）」と答える保護者の割合を 80% 以上にする。（カリキュラム改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 平成 27 年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「持っている（どちらかといえば持っている）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 平成 26 年度末の校内アンケートにおける「命や人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の項目において「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を、80% 以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 平成 26 年度末の校内アンケートにおける「先生はいじめや校内暴力など私たちが困っていることについて対応してくれる」の項目において「対応してくれる（どちらかといえば対応してくれる）」と答える生徒の割合を 80% 以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 平成 26 年度末の校内アンケートにおける「地震や台風などの場合の対応については、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている」の項目において、「知らされている（どちらかといえば、知らされている）」と答える保護者の割合を、85% 以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 平成 26 年度末の校内アンケートにおける「保護者や地域の人々といっしょになって学習や作業をすることがある」の項目において「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を、50% 以上にする。（カリキュラム改革関連・ガバナンス改革関連）
- 平成 26 年度末の校内アンケートにおける「私は部活動に積極的に取り組んでいる」の項目について、「取り組んでいる（どちらかといえば取り組んでいる）」と答える生徒の割合を、80% 以上にする。（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点が本市平均ならびに全国平均を上回るようにする。（カリキュラム改革関連）
- 平成 26 年度末の校内アンケートにおいて栄養バランスのとれた昼食（家庭弁当や学校給食）を取る生徒の割合を 90% 以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 平成 26 年度末の自己評価において、「保健・健康に関して家庭や地域の保健関係機関との連携を図っている」の項目について「図っている（どちらかといえば図っている）」と答える教職員の割合を、100% にする。（ガバナンス改革関連）

【視点 教職員のICT活用能力の向上】

- 平成26年度末の「文部科学省 教育の情報化の実態等に関する調査」における「授業中にICTを活用して指導する能力」の項目において、「できる（わりにできる・ややできる）」と答える教員の割合を100%にする。（マネジメント改革関連）
- 平成26年度末の「文部科学省 教育の情報化の実態等に関する調査」における「生徒にICT活用を指導する能力」の項目において、「できる（わりにできる・ややできる）」と答える教員の割合を100%以上にする。（マネジメント改革関連）
- 平成26年度末の「文部科学省 教育の情報化の実態等に関する調査」における「校務にICTを活用する能力」の項目において、「できる（わりにできる・ややできる）」と答える教職員の割合を100%以上にする。（マネジメント改革関連）

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立昭和中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○平成27年度の全国学力・学習状況調査における「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している(どちらかといえばしている)」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。(カリキュラム改革関連・学校サポート改革関連)</p> <p>○平成26年度「指導方法の工夫改善定数を活用した小学校における専科指導の充実(理科)」に係る児童アンケート(5月・12月実施)の各項目において、「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を、5月実施分より12月実施分において向上させる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○平成26年度末の校内アンケートにおける「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある。」の項目において、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を75%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○平成26年度末の校内アンケートにおける「学校は子どもに基礎的な学力が身につくように努めている。」の項目において、「努めている(どちらかといえば、努めている)」と答える保護者の割合を80%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【自主学習習慣の確立】</p> <p>放課後等に自主学習時間を設定し、地域コーディネーターやボランティアと協力して、生徒の自主学習を支援する。(カリキュラム改革関連・学校サポート改革関連)</p> <hr/> <p>指標・定期テスト前に、自主学習会をそれぞれ3日以上開催する。</p> <p>・学生ボランティアの支援を受けて、土曜学習会を学期に1回以上、また夏季休業期間中に自主学習会を3日以上開催する。</p>	
<p>取組内容②【思考力・判断力・表現力の育成】</p> <p>思考力・判断力・表現力の育成に向けて、言語活動を通して指導と評価の一体化を推進する。(カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標 全教科において、思考力・判断力・表現力を育成する取組を、計画通りに実施する。</p>	
<p>取組内容③【習熟度別少人数授業の実施】</p> <p>生徒の学習到達度を把握し、生徒にわかる喜びを味わわせ、学ぶ意欲を育てる学習など個に応じた指導を工夫する。(カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標 対象教科において、習熟度別少人数授業を年間総授業時数の33%以上設定する。</p>	
<p>取組内容④【小中一貫した教育の推進】</p> <p>9年間を見通した教育課程を編成し、中1ギャップの解消に努める。(カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標 月に1回は、校区小学校と合同で教育課程編成に係るコーディネーター会議を開催する。</p>	

<p>取組内容⑤【特別支援教育の充実】</p> <p>「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」をもとに、自立と社会参加に向けて、個に応じた指導を充実する。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 月に1回は、個に応じた指導について共通理解を図るとともに、年に1回以上指導方法に関わる校内研修会を開催する。</p>	
<p>取組内容⑥【公開授業の実施】</p> <p>授業改善の取組みを保護者・地域に周知する。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 月に1回以上、授業を公開する。</p>	
<p>取組内容⑦【授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>「学び続ける教員サポート事業」に則り、すべての対象教員が公開研究授業を実施し、指導力の向上に取り組む。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 学期に1回以上実施する。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>次年度への改善点</p>

大阪市立昭和中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○平成27年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「持っている（どちらかといえば持っている）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。（カリキュラム改革関連）</p> <p>○平成26年度末の校内アンケートにおける「命や人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の項目において「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を、80%以上にする。（カリキュラム改革関連）</p> <p>○平成26年度末の校内アンケートにおける「先生はいじめや校内暴力など私たちが困っていることについて対応してくれる」の項目において「対応してくれる（どちらかといえば対応してくれる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。（カリキュラム改革関連）</p> <p>○平成26年度末の校内アンケートにおける「地震や台風などの場合の対応については、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている」の項目において、「知らされている（どちらかといえば、知らされている）」と答える保護者の割合を、85%以上にする。（カリキュラム改革関連）</p> <p>○平成26年度末の校内アンケートにおける「保護者や地域の人々といっしょになって学習や作業をすることがある」の項目において「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を、50%以上にする。（カリキュラム改革関連・ガバナンス改革関連）</p> <p>○平成26年度末の校内アンケートにおける「私は部活動に積極的に取り組んでいる」の項目について、「取り組んでいる（どちらかといえば取り組んでいる）」と答える生徒の割合を、80%以上にする。（カリキュラム改革関連）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【道徳教育の充実】</p> <p>人間としての生き方を考えさせる道徳教育を、道徳教育推進教師を中心に、全教職員の共通理解のもとで推進する。（カリキュラム改革関連）</p> <hr/> <p>指標 学期に1回以上、道徳の時間の指導に関する校内授業研修を行い、共通理解を図る。</p>	
<p>取組内容②【道徳教育の充実】</p> <p>生徒の内面に根ざした道徳性を育成するため、豊かな体験活動を推進する。（カリキュラム改革関連）</p> <hr/> <p>指標 全学年を対象に、鑑賞行事を年に1回以上実施する。</p>	
<p>取組内容③【キャリア教育の充実】</p> <p>社会的・職業的自立に向け、子どもの勤労観・職業観を育てるため、職業講話や職業体験学習など、子どもの発達段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育を推進する。（カリキュラム改革関連）</p> <hr/> <p>指標 全ての学年において、年に1回以上、キャリア教育を実施する。</p>	

<p>取組内容④【いじめへの対応】</p> <p>「学校いじめ防止基本方針」に則り、すべての教職員が「いじめ」を見抜く鋭敏な感覚を養い、事案の未然防止および早期解決に努める。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 月に1回以上、いじめ防止に関する委員会を開催する。</p>	
<p>取組内容⑤【防災教育の推進】</p> <p>災害発生時に支援者となる視点から、安全で安心な社会づくりに貢献する態度を育成する。(カリキュラム改革関連・ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 地域関係諸機関と連携した防災教育を、年に1回以上実施する。</p>	
<p>取組内容⑥【美化・環境整備】</p> <p>生徒・保護者・教職員が、潤いのある校内環境を整えることを通して、情操豊かな生徒を育成する。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 生徒・保護者・教職員による校内緑化活動を、年に1回以上実施する。</p>	
<p>取組内容⑦【部活動の充実】</p> <p>部活動を通して、役割と責任を自覚し、協力し合える態度を身につけさせるとともに、豊かな感性や情操をはぐくむ教育を推進する。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 部活動入部率を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立昭和中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 健康・体力の保持増進】 ○平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における女子ボール投げの平均の記録を、全国平均以上にする。（カリキュラム改革関連） ○平成26年度末の校内アンケートにおいて栄養バランスのとれた昼食（家庭弁当や学校給食）を取る生徒の割合を90%以上にする。（カリキュラム改革関連） ○平成26年度末の自己評価において、「保健・健康に関して家庭や地域の保健関係機関との連携を図っている」の項目について「図っている（どちらかといえば図っている）」と答える教職員の割合を、100%にする。（ガバナンス改革関連）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【体力向上への支援】 望ましい運動習慣を身につけ、基礎体力の向上を図るようにする。（カリキュラム改革関連）	
指標 毎回の授業において、腕立て・腹筋・スクワットなどの補強運動を行う。	
取組内容②【食育】 成長期にある生徒が、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう食育を推進する。（カリキュラム改革関連）	
指標 月に1回以上、食育通信を配付する。	
取組内容③【健康な生活習慣の確立】 心身の健康に興味を持ち、自ら管理できる能力をはぐくむ教育を推進する。（カリキュラム改革関連）	
指標 年に10回以上、保健だよりを配付する。	
取組内容④【健康な生活習慣の確立】 家庭や地域とともに、子どもの健全育成を図る取組を推進する。（カリキュラム改革関連・ガバナンス改革関連）	
指標 関係機関・保護者とともに薬物乱用防止教室を年に1回以上開催する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立昭和中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【視点 教職員のICT活用能力の向上】</p> <p>○平成26年度末の「文部科学省 教育の情報化の実態等に関する調査」における「授業中にICTを活用して指導する能力」の項目において、「できる(わりにできる・ややできる)」と答える教員の割合を100%にする。(マネジメント改革関連)</p> <p>○平成26年度末の「文部科学省 教育の情報化の実態等に関する調査」における「生徒にICT活用を指導する能力」の項目において、「できる(わりにできる・ややできる)」と答える教員の割合を100%にする。(マネジメント改革関連)</p> <p>○平成26年度末の「文部科学省 教育の情報化の実態等に関する調査」における「校務にICTを活用する能力」の項目において、「できる(わりにできる・ややできる)」と答える教職員の割合を100%にする。(マネジメント改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【各種研究・研修の充実】</p> <p>教職員のICT活用能力の向上のため、学校教育ICT支援員・授業づくり支援員の協力のもと、校内研修を充実させる。(マネジメント改革関連)</p> <p>指標 全教員が、教材研究と併行してICT機器の使用方法を習得するなど校内研修に努める。</p>	
<p>取組内容②【公開授業の実施】</p> <p>大阪市スタンダードモデルの確立に向け、授業を積極的に公開する。(マネジメント改革関連)</p> <p>指標 全教員の半数以上が、ICTを活用した公開研究授業に取り組む。</p>	
<p>取組内容③【ICTを活用した教育の推進】</p> <p>生徒にICT活用を指導する能力を高める。(マネジメント改革関連)</p> <p>指標 ICTを活用し、生徒が主体的に発表する場を、複数の教科において設ける。</p>	
<p>取組内容④【組織運営】</p> <p>校務の効率化・省力化を進め、教職員の負担の軽減を図る。(マネジメント改革関連)</p> <p>指標 校務にICTを活用するための研修を、学期に1回以上実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

平成26年度 学校関係者評価報告書

大阪市立昭和中学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：
<div>・ ・ ・ ・</div>

3 今後の学校運営についての意見

--